



目次：1面 平成28年度「総会」終了しました 2面 ベトナムの民話「カウとチャウ」
3面 日本で暮らす外国人 NO18／新入会員紹介 4面 日本語教室 NOW／「TIFA サロン」
告知／新会員紹介

平成28年度「総会」が終了しました



4月10日(日)福祉交流センター多目的ホールで午前10時30分から、38名の参加を得て、当協会員 中国出身である 呉 彬榮 (ウー ビンロン) さんの司会で総会を始めました。志村会長、藤井市長の挨拶後、議長に小田島満哉氏を選任して議題の進行を行いました。平成27年度の事業実績報告、収支決算報告が承認され、続いて、会則第13条の一部変更を提案して承認されました。平成28年度 事業計画、収支予算の説明が行われ全ての議案が承認されました。今年度は役員改選の年にあたり、下記の通り新

役員が選任されました。引き続き、立食パーティー形式で会員親睦会を行いました。常日頃、あまり顔を合わせない人も多く、藤井市長も参加頂き、外国出身者も多く参加して、各テーブルで交流が活発に行われました。来年度の総会にも皆様の参加宜しくお願い致します。



役員紹介

任期は2年間（平成30年度総会まで）務めます。

会長	志村 俊晴	理事	三上 栄治
副会長	南 典男	理事	土井 照夫
副会長	鈴木 忠男	理事	福元 満子
副会長	萩原 義夫	理事	山中 韻晶
理事	林 澄子	会計	平塚 絹子
理事	四方田 信之		
理事	斉藤 リリアナ	監査	林 義和
理事	佐々木 房子	監査	吉田 雅弘

総務部長	萩原 義夫 (副会長兼務)
交流部長	鈴木 忠男 (副会長兼務)
日本語教室部長	三上 栄治 (理事兼任)
広報部長	林 澄子 (理事兼任)



ベトナムの民話「カウとチャウ」



カウの木と実

その昔、とある小さな村に、双子の兄弟が住んでいました。「瓜二つ」の兄弟はとても素直で、仲良く暮らしていました。ところが、突然、両親がなくなりました。兄弟は親切な先生の家に住まわせてもらうことになりました。兄弟は、先生とその娘さんとの新しい生活を始めたのでした。

そうしているうちに、兄と先生のお嬢さんは愛し合うようになり、二人は結婚しました。家族はそのまま一緒に生活していました。ところがある時、奥さんが瓜二つの二人を取違えるということが起きました。そんなことがあって、弟は家を出ていきました。歩き続けても気持は晴れず、とうとう大河のほとりに来たところで、流れ落ちる涙にむせびながら、泣き崩れてしまいました。長い時間が流れ、やがて弟は石になってしまいました。

弟が家を出てしまったことを兄は心配していました。考えても、考えても後悔は募るばかりでした。兄は弟を探して旅に出ました。何日も消息を尋ね歩き、とうとうあの大河のほとりに着きました。疲れ果てて休んでいる時に傍らの石が弟に似ていることに気付きました。弟が涙を流しながら、そのまま石になってしまったことを悟りました。こみあげてくる悲しみと涙を押しとどめることはできませんでした。やがては石の傍らで石を慈しみ、守るカウの木になりました。

奥さんは家で待っていましたが、帰らぬ夫を心配して、とうとう夫を探す旅に出たのでした。探しあぐねて大河のほとりに着いた時には息も絶え絶えでした。石の傍らに繁っているカウの木に寄り添って体を休めました。幹を抱きかかえると、やさしい温もりが伝わってきました。奥さんはカウの木を抱きかかえ乍ら、やがて息絶えてしまいました。人々が見たのは、石の傍らに繁ったカウの木にチャウが巻き付いて茂っている光景でした。

人間の悲しみがたたえられているが、愛の深さを伝える話です。この話が伝わり、ベトナムでは結婚式の時に、変わらぬ愛を誓う証に「カウの実」と「チャウの葉」を飾り祝うようになったということです。



チャウの葉

「日本で暮らす外国人 シリーズ 18」

私は中国の大連出身で、今年で、来日 14 年目になります。日本の大学院で古典文学、思想、哲学を勉強しました。現在日本人と結婚し、取手に住んでいます。この間沢山の方々のお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。現在市役所の指導課に所属して、中学校で仕事をしています。

又、育児の傍ら、一週間一回、往復四時間をかけて、大好きな先生の所で古典文学を勉強したり、都内のパソコン教室で Web 作成の勉強を続けてます。このように毎日忙しい日々を過ごしていますが、いつも、心の奥に、とても充実感と喜びを実感しています。

毎年の花見時期、私は着物を着て桜の下で、満開の桜が舞い散る桜吹雪きの風景を観賞します。特に夜桜の時、光の効果で、まるで、私も中世の貴族の世界に遡り、あの幽玄と夢幻的な世界を味わうことができます。以前、西洋の華やかで豪華な物を好みました。が、侘び寂び、一期一会、侍、お琴、和太鼓、演歌をはじめとする、日本の特有な美を再認識出来ました。



私の将来の夢は

- (1) 夏に帆船に乗って、世界一周の旅をしたい。
- (2) 生涯勉強を続け、博士課程に進学したい。また憧れる欧州へ行き、日本の繊細な美と中国の雄大な美、素晴らしい古典文学などの東洋文化を西洋に広げたい。
- (3) 日中両国間、友好と文化交流、貿易と経済の促進をはかる活動をしたい。

(記 浅野夏帆)

新入会員紹介(新)「国際交流協会に加入しました。」

はじめまして！私は今年 4 月から国際交流協会 (TIFA) に入会しました佐藤幹夫と申します。実を言いますと、娘も TIFA の会員です。

私の家内は中国広東省広州市出身です。今から 13～14 年位前、TIFA 日本語教室でずい分お世話になりました。その当時白山にあった日本語教室に週 2 回、半年ほど通っていました。それ以外の日は中国で買ってあった日本語学習書で、自宅で勉強していました。又、教室で多くの友人と知り合いになり、その友人たちとは今でもお互いに連絡を取り合っているとのこと。さらに、娘 (当時小学校 6 年生) も今から 6～7 年位前、福祉交流センターで日本語を習いました。学校で友だちとの会話に役だったようです。

このように、家内も娘も TIFA の日本語教室で大変お世話になりました。「日本語を学習でき、しかも沢山の友人に出会える！」素晴らしいことだと思います。「このような TIFA に私が少しでも力になれたらいいな」という思いで入会しました。



(交流部会 佐藤幹夫)

3月19日福社会館で日本語ボランティアのスキルアップ講座を開催しました。テーマは「ゼロ初級者への具体的な進め方」で、講師は松尾氏（国際日本語普及協会）です。外国出身学習者へ日本語学習支援をする日本語ボランティアにとって基本的なテーマであり、永遠の課題のようなテーマです。まったく日本語が話せない外国出身学習者へ日本語学習支援をするため、日本語ボランティアにまず必要なのは「笑顔」と「忍耐」です。そこで必要なのは、今回の講座のテーマです。いろいろ工夫をして、学習者にわかりやすく授業を進めることです。



例えば、品詞は名詞から始め、動詞、形容詞の順番で授業を進めていきます。名詞ですとボランティアと学習者の名前を言えるようにします。それに「母国」の名、「来ました」という動詞、慣用句である「宜しくお願いします」を言えるようにします。それからボランティア、学習者双方で簡単な自己紹介をします。「〇〇です。××から来ました。宜しくお願いします。」、これが理解できた、通じた喜びを最初の喜びとして双方で実感し、万々歳で初日の授業を終了します。もう一つは、「写真」「イラスト」「実物のチラシ」を使えば、言葉を現実的、具体的なイメージとして捉え易くなり学習者の理解度は大幅アップ間違いなしです。当日はこんなことを勉強し、再確認しました。

日本語教室部 本間東一



TIFA サロン 「世界の料理の集い」

マレーシアとペルーの屋台料理を作って、食べて、国際交流、国際理解を深めませんか！食べるだけの参加者も歓迎します。

開催日時	2016年7月3日(日) 午前10時～午後3時
場所	井野公民館 調理室
募集人員	先着30名
参加費	会員300円 非会員600円
申し込み	山中 090-6656-3499
持ってくるもの	エプロン 三角巾 ふきん2枚



新会員紹介（敬称略）

パオ・ファハード 高部サムローイ 佐藤幹夫 継田壁綺 久合秋一郎
入谷シェリージーン 吉田黎霞 ブィ ティエン マン 原田信行

連絡先：取手市国際交流協会事務局 取手市役所秘書課内

TEL:0297-74-2141 内線 1112

FAX:0297-73-5995

E-Mail:hisho@city.toride.ibaraki.jp ホームページ:http://www.tifa-japan.com